

令和7年4月11日

福岡県糟屋郡久山町教育委員会  
教育長 重松 宏明 様

学校法人東筑紫学園  
九州栄養福祉大学こども教育学部  
教授 脇田 哲郎

令和6年度「久山町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の  
点検及び評価」に係る意見書

「令和6年度『久山町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書』」の  
第4「『令和6年度久山町教育振興計画』の基本目標に基づく主要施策について」に係る意見書を下記の  
通り提出いたします。

記

久山町教育委員会では、学校教育について表1に示す通り12の施策に取組まれ、34の具体的内容から  
評価を行なっております。

【学校教育】 社会を生き抜く子供を育てる	<p>(1) <u>社会に必要な資質・能力の育成</u></p> <p>施策① 保育の質を大事にした幼児教育の推進 ア 豊かな生活体験の実施 イ 12年間で子どもをそだてる久山の教育を意識した保育活動の推進</p> <p>施策② 確かな学力の育成 ア 学力向上プランに基づいたPDCAサイクルの推進 イ 主体的な学びを実現する漢字検定、英語検定の実施 ウ タブレット端末等を活用したICT教育の推進 エ 職員研修の推進 オ 家庭教育の手引き配布</p> <p>施策③ 体力の向上と食育の推進 ア 体力向上プラン「1校1取組」運動の実施 イ スポーツ推進委員、運動支援者との連携 ウ 家庭や関係機関と連携した食育の推進</p> <p>施策④ 道徳教育の推進 ア 学校における道徳教育の推進 イ 地域・家庭における道徳教育の推進 ウ 道徳講演会の実施</p> <p>施策⑤ 読書活動の推進 ア 学校図書館を活用した読書機会の充実 イ ブックツリー事業の推進（朝読書や読み聞かせの実施）</p> <p>施策⑥ グローバル人材の育成 ア 1校に1人のALT配置 イ ALTを活用した課外活動の実施（触れる） ウ 英語を活用した体験の推進（親しむ） エ 英語学力を向上させる英語塾の実施（学ぶ）</p>
-------------------------	--

<b>【学校教育】</b> 社会を生き抜く子供を育てる	<p>(2) <u>多様なニーズに応じた体制づくり</u></p> <p>施策⑦ 特別支援教育の環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 臨床心理士（特別支援教育相談員）の配置</li> <li>イ 最適な就学のあり方について幼・保・小・中相互の連携と連絡会議の実施</li> <li>ウ 町費負担学習支援員の配置</li> <li>エ 特別支援教育に関する研修会の実施</li> </ul> <p>施策⑧ 教育相談体制（いじめ・不登校への対応）の環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア いじめ防止対策</li> <li>イ 専門家による支援</li> <li>ウ 不登校児童生徒への登校支援</li> </ul> <p>(3) <u>信頼される学校づくり</u></p> <p>施策⑨ 特色ある学校図書館作りの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 久山中学校図書館の整備</li> </ul> <p>施策⑩ 保護者や地域と連携して進める学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア コミュニティ・スクールの推進</li> <li>イ 地域学校協働本部との連携</li> </ul> <p>施策⑪ 教育施策の充実と学校安全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 各学校・園施設の点検・整備・改修</li> <li>イ ICT 支援員を活用した ICT 教育の推進</li> <li>ウ 校区安全対策委員会の開催</li> </ul> <p>施策⑫ 働き方改革の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 勤務時間・健康管理を意識した働き方改革の推進</li> <li>イ 学校ごとに特色ある取組の設定と徹底</li> </ul>
--------------------------------	--

表 1 【学校教育に関する施策と具体的な取組】

## 1. 社会を生き抜く子どもを育てる【学校教育】の取組について

### 施策① 幼児教育の推進

#### ア 豊かな生活体験の実施

豊かな自然や地域、友達と触れ合える活動を目指した単元開発がなされ、心豊かに逞しく生きる子どもの育成に向けた体験を中心とした活動に取組まれたり職員研修を通して体験活動の充実を図ったりされ、そのことを福岡県教育センターの講座の中で高く評価されたことは素晴らしいです。

#### イ 12年間で子供を育てる久山の教育を意識した保育活動の推進

教職員アンケートで「園児は良いこと悪いことが分かり、自分なりに考えて行動することができるようになった」「園児は遊びの中で自分の力を発揮できるようになった」「園児は苦手なことでも挑戦し最後までやり遂げようとした」「園児は互いの想いや考えを共有できる」という項目で「とてもそう思う」「そう思う」と100%の教職員が答えていることから、充実した保育活動が行われていると考えます。

### 施策② 確かな学力の育成

#### ア 学力向上プランに基づいたPDCAサイクルの推進

令和6年4月の全国学習状況調査では、小中共に概ね良好な結果を示しています。山田小学校では、学力向上プランに基づく学力向上に向けた取組は、指標到達までには至っていませんが学力向上コーディネーターの研修は確実に行われています。久原小学校では、研修の充実が図られ、学力向上プランに基づいた取組みが全教職員に共有されました。久山中学校では、設定していた成果指標に課題が見られた

ので改善することができました。ただ、この項目は、学力向上に向けた取組みが計画（P）→実施（D）→評価（C）→改善（A）というサイクルでどのように行われていたのか、その結果、学力は向上したのかという観点で表記されたほうが分かりやすいと考えます。

#### イ 主体的な学びを実現する漢字検定、英語検定の実施

漢字検定も英語検定も目標の合格率に達しなかったという結果を示されていますが、学習指導要領で求められている「主体的な学び」は授業改善の視点でもあります。日常の授業において、どのように学習に対する興味・関心を高めたのか、見通しを持たせたのか、学習を振り返らせたのかなどの視点からの評価が求められると考えます。

#### ウ タブレット端末等を活用した ICT 教育の推進

担当者研修会も充実して日々の学習に生かされるようになってきています。ICT 機器を活用した回数で評価しようとしています。活用したことによってどのような豊かな学びがあったのか、児童生徒の自由記述などの質的な評価があると分かりやすくなる考えます。

#### エ 職員研修の推進

小中学校とも、校内研修（主題研修、一般研修）は充実していると考えます。研修に対して消極的な教職員が見られますが、個々のキャリアステージに応じた計画的な研修を管理職と相談しながら指導していくことはとても大切な取組みだと考えます。

#### オ 家庭教育の手引き配布

家庭教育の手引きによって学習習慣や生活習慣の形成を各家庭に啓発したことで、どのような効果が見られたのかを評価されるといいでしょう。

### 施策③ 体力の向上と食育の推進

#### ア 体力向上プラン「1校1取組」運動の実施

小中学校で「ジャンプアップスポ魂」「運動大好き・体力アップ久原」「全力〇〇体育授業」などの1校1取組が行われています。その結果、中学校の男女の体力は向上していますが、小学校は伸び悩んでいるようです。今後は、なぜ、1校1取組みが体力向上につながらないのかの分析も必要になると考えます。

#### イ スポーツ推進委員、運動支援者との連携

小学校での体力テストにスポーツ推進委員との連携が図られています。今後は、コミュニティスクールの良さを活かして、学校運営協議会などにも働きかけ運動支援者を増やしていかれてはどうでしょう。

#### ウ 家庭や関係機関と連携した食育の推進

食育については、義務教育9ヶ年間で「食事の重要性」「心身の健康」「食品を選択する能力」「感謝の心」「社会性」「食文化」の食育の視点が文部科学省から示されています。食に対する望ましい食習慣をこれらの視点から育成することも必要だと考えます。

## 施策④ 道徳教育の推進

### ア 学校における道徳教育の推進

児童生徒の道徳心の高さは、これまで地域と共に道徳教育を推進してこられた成果だと思います。特に、個性の伸長や向上心、思いやり、地域の伝統・文化に関する道徳心が高いのは素晴らしいことだと考えます。

### イ 地域・家庭における道徳教育の推進

長く、道徳推進のための活動を続けてこられたのは、学校部会や家庭部会、地域部会などの組織がしっかりしておられるからだと考えます。今後も、持続可能な取組にしていくための環境整備に努められることを期待します。

### ウ 道徳講演会の実施

素晴らしい講師を招聘されたことで、これまでの参加者層の拡大につながったと思います。166名の参加者があったのは素晴らしいことだと考えます。

## 施策⑤ 読書活動の推進

### ア 学校図書館を活用した読書機会の充実

小学校の平均貸出冊数が平均 90 冊とは、素晴らしい結果だと思います。中学生も 30 冊には至りませんでした。20 冊という結果は評価できると思います。今後も、リニューアルした図書館で読書活動が一層充実していくことを期待します。

### イ ブックツリー事業の推進（朝読書や読み聞かせの実施）

幼稚園，小学校，中学校での読書活動が積極的に行われています。また，153名の来場者があったイベントが開催されるなど充実した読書活動が行われていると考えます。今後もこれらの取組みが持続していくことを期待します。

## 施策⑥ グローバル人材の育成

### ア 1校に1人のALT配置

小学校の満足度と中学校の満足度に差が見られるのは何が原因なのか，多面的に分析することも必要だと考えます。

### イ ALTを活用した課外活動の実施

教育委員会の働きかけで，積極的に英語に触れる活動が行われていることが分かります。

### ウ 英語を活用した体験の推進

英語に親しむ活動は，小中学校とも肯定的な評価をしていることから初期の目的を達成していると考えます。

### エ 英語学力を向上させる英語塾の実施

中学生が英語を学ぶ場を積極的に用意され，そのことによって効果が出ていることが分かります。中学2年生は部活動などの活動が忙しいのかも知れません。一度，具体的な声を調査したらどうでしょう。

## (2) 多様なニーズに応じた体制づくり

### 施策⑦ 特別支援教育の環境整備

#### ア 臨床心理士（特別支援教育相談員）の配置

臨床心理士 3 名，スクールカウンセラー（以下，SC）1 名の配置によって，WISC 等の発達検査を実施し全ての保護者にフィードバックができました。

#### イ 最適な就学のあり方について幼・保・小・中相互の連携と連絡会議の実施

年間 8 回の実施によって，123 名の園児，児童生徒に望ましい学びの場を提供することができました。また，幼小や小中の連絡会が充実しています。さらに，中高の個別の教育支援計画の引き継ぎも円滑に行われています。

#### ウ 町費負担学習支援員の配置

中学校 1 名，小学校 2 名の支援員を配置し，支援を要する児童生徒への決めの細かい支援が行われています。

#### エ 特別支援教育に関する研修会の実施

幼小中でコーディネーターによる研修会が実施されています。

ア～イの評価結果から特別支援教育の環境整備は効果的に推進されていると考えます。

### 施策⑧ 教育相談体制（いじめ・不登校への対応）の環境整備

#### ア いじめ防止対策

いじめの認知件数は，小学校 32 件，中学校 11 件でしたが，各学校とも迅速に対応し早期に解決しています。また，中学校に配置している「心の相談員」による相談件数も 51 回行われるなど，生徒の居場所作りにおおいに機能しています。

#### イ 専門家による支援

SC の相談件数は，小学校 53 件，中学校 132 件と丁寧な支援が行われました。相談件数の増加で，今後の SC の人数増も検討されることは意義あることだと考えます。

#### ウ 不登校児童生徒への登校支援

教育支援ルームが設置され，6 名の中学生が通室しています。多様な学びの場が学校にあることは，自分に最も適した学習環境を選択することにつながると考えます。

ア，イの取組から，久山町教育委員会では，いじめや不登校の児童生徒への取組みが充実していると考えます。今後は，学習指導要領に示されたように，学級活動における児童生徒の自発的，自治的活動を通じた学級経営の充実に取り組まれ，児童生徒が自らいじめを起こさない資質・能力の育成を目指される事を希望します。

### (3) 信頼される学校づくり

#### 施策⑨ 特色ある学校図書館づくり

##### ア 久山中学校図書館の整備

図書館のリニューアルに向け、久山中学校にリニューアル実行委員会が設置され、その会議が11回実施されたことは素晴らしいことだと考えます。自分たちの理想とする図書館にリニューアルしたことで、今後、生徒が読書活動に積極的に参加していくことが大いに期待されます。

#### 施策⑩ 保護者や地域と連携して進める学校づくり

##### ア コミュニティ・スクールの推進

小中学校とも、学校運営協議会を積極的に開催され、子供を真ん中に置いた熱心な協議が行われていることが分かります。今後は、学校に関わることによって地域が活性化してきたというような事例が数多くみられるようになることを期待します。

##### イ 地域学校協働本部との連携

小中学校への教育ボランティアの派遣が積極的に行われたことがよく分かります。今後は、そのことによって、地域にどのような効果が見られたのかという視点からの評価が行われると互恵的な関係が見えてくると思います。

#### 施策⑪ 教育施策の充実と学校安全

##### ア 各学校・園施設の点検・整備・改修

学校環境の改善に向け、積極的に小中学校の改修工事に取り組まれたことがよく分かります。今後も子供たちにとって最適な学びの環境づくりに向け取り組まれることを期待します。

##### イ ICT支援員を活用したICT教育の推進

ICTの活用に向け、積極的に担当者の研修会が行われています。

##### ウ 校区安全対策委員会の開催

山田小学校が「学校安全優良学校 優秀賞」を受賞されるなど、町内の方々が各学校にボランティアとして関わってくださっていることがよく分かります。これらの取組とコミュニティスクールとの関係を整理していかれることも今後は必要だと考えます。

#### 施策⑫ 働き方改革の推進

##### ア 勤務時間・健康管理を意識した働き方改革の推進

残業時間が減少してきていることは素晴らしいことだと考えます。

##### イ 学校ごとに特色ある取組の設定と徹底

40分授業を実施するなど、これまでの学校とは異なる取組みを推進することによって、教員の働き方を改革しようという流れが生まれています。学校と教育委員会が一体となって今後も推進されることを

期待します。

久山町教育委員会では、生涯学習・生涯スポーツについて表2に示す通り5つの施策に取組まれ、11の具体的内容から評価を行なっておられます。

【生涯教育・生涯スポーツ】 学び合いやスポーツの機会を広げる	<p>(1) <u>学びの機会の充実</u></p> <p>施策① 生涯学習推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"><li>ア 生涯学習に関する研修会の実施</li><li>イ 分館活動の活性化の推進</li></ul> <p>施策② 文化交流センター事業</p> <ul style="list-style-type: none"><li>ア レスポアール久山の利用促進・事業支援</li><li>イ 町民図書館の充実</li></ul> <p>施策③ 社会教育施設回収事業</p> <ul style="list-style-type: none"><li>ア 社会教育施設の計画的な改修</li><li>イ 社会教育施設の活用促進</li></ul> <p>施策④ 青少年育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"><li>ア 地域アンビシャス運動の実施</li><li>イ 子ども会育成会活動の推進</li><li>ウ 青少年補導員による巡回パトロールの実施</li></ul> <p>(2) <u>スポーツ機会の充実</u></p> <p>施策⑤ 生涯スポーツ推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"><li>ア 各種スポーツ大会を通じた地域コミュニティの充実</li><li>イ 久山スポーツクラブの活動の推進</li></ul>
-----------------------------------	---

表2【生涯教育・生涯スポーツに関する施策と具体的な取組】

### (1) 学びの機会の充実

#### 施策① 生涯学習推進事業

##### ア 生涯学習に関する研修会の実施

地域コミュニティについて考える研修会では、参加者の満足度が85%になるなど、充実した研修会が行われました。

##### イ 分館活動の活性化の推進

町内の8分館に助成金を出していることによって、地域アンビシャス運動が充実しています。

今後、町民の誰もが参加できる生涯学習を実現するために、学び手である町民の希望を調査し反映していくことも必要だと考えます。

#### 施策② 文化交流センター事業

##### ア レスポアール久山の利用促進・事業支援

主催事業としての講座が18教室、交流イベントが10事業開催されるなど積極的な取組みが行われたと考えます。レスポアール久山の利用者数が7万人という結果も素晴らしいと考えます。

##### イ 町民図書館の充実

町民図書館は、月平均利用者数が100人、月平均貸出数が600冊という状況はよく努力されているのではないかと考えます。「絵本大好き大作戦」に150名の親子が参加されたのも素晴らしいことです。

### 施策③ 社会教育施設回収事業

#### ア 社会教育施設の整備，利用促進

久山会館，町民体育館の空調工事，レスポアール久山の照明の LED 化や玄関前広場の改修工事に取り組まれるなど社会教育施設の計画的な改修が行われました。

#### イ 社会教育施設の活用促進

福岡久山相撲場の利用者数が昨年度よりも 500 人多い 1,500 人に増加しています。また，ケイマンゴルフ場は，昨年よりも減少していますが 4,700 人の利用者がありました。さらに，社会教育施設の年間利用者数は 3,2000 人を超えるなど社会教育施設の活用が促進されています。

### 施策④ 青少年育成事業

#### ア 地域アンビシャス運動の実施

久原，山田両小学校区のアンビシャス広場で様々な体験活動を実施したことから，参加者数が 1,700 名以上になり昨年度を上回りました。地域アンビシャス運動の実施が充実していると考えます。

#### イ 子ども会育成会活動の推進

子ども会育成会では，180 名が参加した射的大会や道徳カルタ大会，映画上映会を開催するなど積極的に活動促進を図っておられます。子ども会への加入は他の自治体でも問題になっており，今後も加入促進の活動を充実されることを期待します。

#### ウ 青少年補導員による巡回パトロールの実施

青少年補導員は，職務内容に関する研修会の開催，祇園祭後の補導巡回，夏休み期間中の商業施設での補導巡回，祭りひさやま後の補導巡回等を積極的に実施しておられます。

## (2) スポーツ機会の充実

### 施策⑤ 生涯スポーツ推進事業

#### ア 各種スポーツ大会を通じた地域コミュニティの充実

久山スポーツフェスタ，町民ソフトバレーボール大会の町民スポーツ大会を開催され，約 800 人の参加がありました。スポーツ大会を通じた地域コミュニティの充実が図られていると考えます。

#### イ 久山スポーツクラブの活動の推進

久山スポーツクラブへの加入者は 410 名であり，広報誌や暁政無線を通じた広報活動が効果的に行われています。

久山町教育委員会では、文化財振興、文化財保護について表3に示す通り5つの施策に取組まれ、9の具体的内容から評価を行なっておられます。

<b>【文化振興、文化財保護】</b> 町の文化を守り、育てる	<p><u>(1) 首羅山遺跡など文化財の保存・活用</u></p> <p>施策① 首羅山遺跡保存・活用事業</p> <p>ア 首羅山遺跡の調査・史跡の整備・活用</p> <p>イ 学校教育との連携</p> <p>施策② 文化財保存・活用事業</p> <p>ア 町内文化財の調査・整備と活用促進</p> <p>イ 片見鳥遺跡の報告書の作成</p> <p><u>(2) 町民活動の支援</u></p> <p>施策③ 文化活動推進事業</p> <p>ア 文化協会の活動推進</p> <p>イ 文化活動の機会の創出</p> <p>施策④ 祭りひさやま事業</p> <p>ア生涯フェスタ「祭りひさやま」開催支援</p> <p>施策⑤ ボランティア活動の推進</p> <p>アボランティア活動の支援・協力</p>
------------------------------------	---

表3 【文化振興、文化財保護に関する施策と具体的な取組】

(1) 首羅山遺跡など文化財の保存・活用

施策① 首羅山遺跡保存・活用事業

ア 首羅山遺跡の調査・史跡の整備・活用

首羅山移籍を訪れた人は18,023人であり、目標値を大きく超えています。移籍調査の結果や整備・活用などについても具体的に示されるといいと考えます。

イ 学校教育との連携

山田小児童による絵本の作成や久山中生徒による絵本の英語科、久原小児童による福岡市博物館や九州大学での発表など学校教育と積極的に連携しておられます。

施策② 文化財保存・活用事業

ア 町文化財の調査・整備と活用促進

伊勢の御田扇や上山田の盆綱引きの調査や整備が進み、町指定文化財への指定が進んでいることが分かります。

イ 片見鳥遺跡の報告書の作成

整理作業が順調に進み、3月末で完了するという報告がありますが、今後、その報告書をどのように町民に周知されるのか楽しみです。

(2) 町民活動の支援

施策③ 文化活動推進事業

ア 文化協会の活動推進

文化協会の活動については、町の広報誌で発信されています。その結果、サークル数と会員数が増加し

ています。

#### イ 文化活動の機会の創出

11月の「歌と踊りの祭典」や9月、12月、3月の「ロビー展示」、7月の「サマースクール」などの取組によって町民の文化活動への機会が創出されています。

#### 施策④ 祭りひさやま事業

##### ア 生涯フェスタ「祭りひさやま」開催支援

10月6日の祭りひさやまには、9,323名の参加があり成功を収めておられます。このような結果の背景には、教育課職員の円滑な運営支援があるようです。

#### 施策⑤ ボランティア活動の推進

##### ア ボランティア活動の支援・協力

135の方がボランティアに参加されるなど、ボランティア活動の支援・協力は効果的に行われたと考えます。

久山町教育委員会では、人権啓発・男女共同参画について表4に示す通り2つの施策に取組まれ、4つの具体的内容から評価を行なっておられます。

【 人権啓発・ 男女共同参画 互いに認め合う 】	<p>(1) <u>人権教育や平和教育の推進</u></p> <p>施策① 人権教育の推進 ア 人権に関する教育及び研修の推進 イ 町民への人権啓発</p> <p>施策② 平和教育の推進 ア 学校における平和教育の推進 イ 地域における平和教育の推進</p>
--------------------------------------	---

表4 【人権啓発・男女共同参画に関する施策と具体的な取組】

#### (1) 人権教育や平和教育の推進

##### 施策① 人権教育の推進

##### ア 人権に関する教育及び研修の推進

町学校人権教育実践交流会や久山町学校人権教育全員研修会では、素晴らしい講演会などが行われ、教職員の人権意識の高揚を図ることができました。

##### イ 町民への人権啓発

「破壊」の上映や講演会などの実施により、町民の方々への人権啓発がなされました。

## 施策② 平和教育の推進

### ア 学校における平和教育の推進

道徳科の授業や修学旅行などを通して、児童生徒への平和教育が行われています。平和に対する肯定的な数値は概ね良好だと思えます。今後は、児童生徒の具体的な考えなども同時に掲載していただけるとその効果がより分かりやすくなると考えます。

### イ 地域における平和教育の推進

原爆パネル展や被爆者の方による講演などにより、地域における平和教育が推進されています。

児童生徒や町民が平和について考え、学ぶ環境づくりに積極的に取組まれたと考えます。ただ、児童生徒の平和に対する見方、考え方を形成していくためには、日常生活の中にある友達や他の人々との関わりによって体験的に学ぶことも大切だと考えます。今後、平和教育でどのような資質・能力を育成すればいいのか研究を深められることも必要だと思えます。

以上、久山町教育委員会の令和6年度「久山町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」について意見を述べさせていただきました。教育委員会の評価を見せていただきながら、久山町の教育委員会各課が、連携しあって懸命に努力されたことが理解できました。

昨年度に引き続いて評価をさせていただきましたが、各項目の評価を数値を用いて行うなど量的な評価が一層推進されており、取組みの効果が分かりやすくなっています。

今後は、なぜ、そのような数値結果が得られたのか具体的な取組み内容との関係を明らかにする質的な評価との組み合わせも検討していただいてはどうでしょうか。

また、児童生徒や地域住民、保護者等の意識調査から、対象者のニーズを明らかにして、それらの求めにどれだけ応えることができたのかなどの評価が示されてもいいと考えます。

今後は、いい地域がいい学校を育て、いい学校がいい地域を育てると言われるように、コミュニティスクールの更なる充実、発展を期待いたします。さらに、各課の取組みもこのCSの視点から整理していかれると、新しい時代に求められる教育の実現へと向かうのではないのでしょうか。

文責：学校法人東筑紫学園 九州栄養福祉大学 子ども教育学部 教授 脇田哲郎